

書道パフォーマンスにおける運筆と書表現

——大学での実践と指導——

森 哲 之

はじめに

「書道パフォーマンス」は、書道における表現活動の一つとして定着しつつある。古来より席書等の文化もあり、書作品鑑賞と同時に、揮毫する書き振り、書が形作られていく過程の筆毛の変化、墨痕、運筆等の鑑賞が行われる。現代の書道パフォーマンスは、書道に馴染みの少ない人々にも伝わるものがあり、協働を通して、書道のよさや魅力、芸術、伝統文化の一端に触れられるエンターテインメントとして有益なものと言える。パフォーマンスには、様々な要素が含まれ、書道に関する要素以外の演出との兼ね合いも様々に試みられている。現代に求められる書の表現活動として発展しており、書道パフォーマンスとしてのあり方にも多様化が見られる。しかしながら、書道の要素とはあまり関わらない演出の方に比重が置かれ、書道の本来的なよさや性質が発揮されず形骸化する場合もあり、それらのバランスの考慮も必要であろう。

コロナ禍において、書道そのものの活動も工夫を要する時期があり、書道パフォーマンスはその活動や実施を余儀なくされてきた。少しずつ活動が再開され、外部団体からの大学への依頼も増加傾向にある。従来、広島文教大学では学科の書写書道専修や書写書道教育学ゼミ等を中心に行ってきたが、近年はそれらを含む書道部を中心とした実施となっている。本稿では、書道パフォーマンスの実例における運筆と書表現との関わりを見出しながら、特に初学者が捉えにくい運筆と身体動作、書法の理解等について検討する。

1. 書道パフォーマンスの事例に見る運筆と書表現へのアプローチ

大学教育の場において、筆者が書道パフォーマンスの指導に携わった事例を取り上げ、運筆に焦点を当て、書表現や身体動作との関わりについて触れる。また、

外部団体からの依頼を受けて取り組んだ活動において、様々な書道パフォーマンスの取り組みにも共通する書表現の方法について捉えていく。

広島グリーンアリーナにおける書道パフォーマンス・他分野活動とのコラボレーションの事例である。コロナ禍の前、2019年11月8日、広島グリーンアリーナにおいて、ライオンズクラブ国際協会主催「第58回東洋・東南アジアライオンズ・フォーラム（OSEAL）」の開会式で、広島文教大学の学生による書道パフォーマンスを実施した。オリジナルの楽曲が用意され、書道以外の分野を含むパフォーマンスの全体構成は、タップパフォーマー・プロデューサーによるものであった。本会のオープニングパフォーマンスとして、プロの歌唱にはじまり、団体によるタップダンス、和太鼓演奏、一連の流れで、広島文教大学による書道パフォーマンス、総合ダンス等へと続く構成であった。アジア諸国から約1万人の来場者があり、全体で約12分間の迫力あるパフォーマンスが実施された（「広島文教大学 web サイト」（2019.11.8. 広島グリーンアリーナにおける書道パフォーマンス）<https://www.h-bunkyo.ac.jp/university/report/event/12087/>）。

本学学生が担当した書道パフォーマンスの舞台には、約6m×6mの巨大な円形の装飾ボードが縦置きに設置された。主催者の意図とこちらからの書表現や運筆に関する提案が勘案され、大型の移動式の階段及び踊り場が設置され、上部に駆け上がって大書していくものとなった。事前に大学内外や現地にて入念なりハーサルを繰り返し、「輝 夢 繋 愛 平和を学び祈る Peace」の書を表現した。大学で書道を始めた1年生を含む学生チームの編成で、相互の学び合いも重要であった。次に、その書表現に関する取り組みについて、手順や概要を述べる。

（1）書表現の前提としての古典臨書

よい書表現、望ましい書表現等を検討するに当たって、何かしらの土台が必要となる。書道パフォーマンスでは、協働した取り組みになるため、客観的にも判断でき高め合えるよう、古典の書表現が一つのベースや目安となる。表現者が創造的に発展的に取り組むためにも、書表現の前提としての古典臨書により、書道パフォーマンスの前段階として、また並行して、裏付けとなる書法の理解が必要となる。対象はそれぞれの関心に応じた古典で、丁寧に捉え観察すると共に表現の確かさを追求していくことになる。なお、古典の参考については、各種資料や法帖、アプリ「雲章書法字典」、「e 国宝」等を活用した。

（2）書作品としての書体・書風、線質、構成

主催者の意図・要望等を聴き、最大限効果的で可能な書表現を複数提案し、学

生の経験や希望を勘案しながら、表現者である学生を中心に雛形を制作した。最終形が縦に設置された約 6 m × 6 m の円形の装飾ボードであることから、書体・書風、全体観等も検討した。「輝」「夢」「繫」「愛」については、読める文字の方向で大書による動きを伴うことから、蘭亭序など王羲之の行書をベースに様々な行書古典を参考とし担当ごとにも工夫していった。「平和を学び祈る」については、北魏の始平公造像記等の楷書古典をモチーフに、力強く鋭く激しく勢いのある線質を用いた。言葉に込めた思いを一画一画刻み込んでいくイメージを持った。「Peace」のアルファベットについては、金文等の安定、充実した線質に加え、筆記体を応用し同様に行書古典の動きを関連付けた。それぞれにおいて、大きな用紙にもイメージを書き、調整しつつ、方向性を定めていった。また、作品としての仕上がり、と、運筆による身体表現を合わせていく作業を繰り返し共通理解を図った。

(3) 字形と運筆との一貫性

基本的な字形の検討については、アウトプットに終始せず、半紙にて古典の書法を分析、吸収しながら、運筆の必然性を探っていった。また、徐々に寸法を大きくし、全紙（約 136 cm × 68 cm）程度の用紙にも同様の書法が実現できるよう検討した。半紙と全紙における大きさの割合を目安に、それに伴い、特に運筆における地上からの高さや振幅、俯仰、抑揚、緩急、毛筆の開閉、自然な用筆等を見出していった。半紙と全紙において交互に繰り返し分析し、理に適った運筆を確認していった。身体全体、特に足腰を移動させながら、寸法に対する動きの大きさを実現できるようにした。

その後、立て掛けて大書することを想定し、壁面に全紙ないし本番の寸法程の用紙を貼るなどして、全身で書いていった。床で書くこととの共通点を応用した。相違点は、高さや振幅であり、奥行きとして手前に引いた状態から前方紙面に向かうことになる。そこに一貫性を重視し臨ませた。

(4) 書としての動きと楽曲との調和

書や言葉として紡ぎ出す書き振りを優先し、曲調と符合する運筆を探っていき、生き生きと自然に書くことを重視した。曲との調和、動線、見せ場、演出等、他分野とのコラボレーションの調整もあり、最終的には、総合プロデュースによる効果的な演出が加味され完成した。

(5) 初学者等の課題と指導

初学者等にとって難しく感じられるところは次のことが挙げられる。先述の古

典臨書の意義である。パフォーマンスの題材のみ多くの枚数を書くだけに陥っては学びや吸収が見込めないため、古典臨書による分析力、書法の獲得により、自由で理に適った運筆が得られていく。

次に、大書の際の身体を使った動き等にも課題が見られ、初期には手先や腕だけで書く傾向が認められる。寸法に伴い相応の動きを考慮すると、足腰や膝の屈伸を使い、上半身や腕の伸び上がり、筆の高さや奥行き、軌道について正しく判断していくことが肝要である。

また、様々な先人の揮毫にもヒントが見られる。書作品と揮毫が一貫している例として、井上有一の揮毫がある。井上有一の揮毫については、様々な動画コンテンツでも確認できる。一画一画に魂が宿り、書に生命が吹き込まれる。身体と言葉と書字、運筆、呼吸等が一体化したものと言える。その揮毫の記録動画はありのままの制作風景であり、パフォーマンスとして見せるためのものではないであろうが、揮毫状況が自然体にして、理に適った運筆、動作、書表現であるため参考になる。顔氏家廟碑等の臨書作品も残し、書の取り組みは多岐に亘る。

以上のような (1)～(5) の組み立てをもって、書道としてのパフォーマンスを構築した。

2. 多種イベントにおける書道パフォーマンスの事例

外部団体依頼等による書道パフォーマンスでは、主催者の意図により、書道パフォーマンスの伝統的な雰囲気や華やかで若者が躍動する元気な姿に期待が寄せられる。現代の楽曲等と書道の伝統文化、日本のよさのようなものも含まれよう。書道としてのパフォーマンスにおける運筆と書表現の組み立てについては、先述の内容と同様である。広島文教大学学生による各種書道パフォーマンスの取り組みとその特色を挙げておく。

(1) 芸術文化イベントにおける書道パフォーマンス

2022年9月18日、広島青年会議所による「Colorful Heart Festival ～ Hiroshima を芸術文化で彩ろう！～」が平和大通りにおいて開催された。WANIMA「ともに」「やってみよう」の楽曲による4m×8mの書道パフォーマンスを行った。芸術文化活動の主旨に沿った書道パフォーマンスの要望で、表現は自由であった。そこで、Colorfulな虹の模様を背景に、元気を与える題材として選曲、歌詞の象徴的印象的な部分を取り上げ、字配り、配色にも工夫を凝らした。また、別途の取

り組みとして、アーティスト村上貴信氏が描いた下絵にポスターカラーを使用し色付けを行うパノラマペイントにも協力し制作した。

(2) まつりイベントにおける書道パフォーマンス

2022年10月9日、中国運輸局広島運輸支局構内において、公益社団法人 広島県トラック協会・ひろしまトラックまつり実行委員会主催による「第29回ひろしまトラックまつり」のオープンステージで、書道パフォーマンスを行った。ONE OK ROCK「Renegades」「完全感覚 Dreamer」の楽曲による4 m×8 mの書道パフォーマンスである。主催者の意向により、「道」の題字に、指定の物流に関するフレーズ「物流が創る豊かな未来～すべての人へ届けるトラックのチカラ～」というテーマを書いた。指定された文言で、自由な書表現が求められた。観客の前で実演し、インタビュー後に、大型トラックの側面に作品が吊し上げられるものであった。

(3) 会社主催イベントにおける書道パフォーマンス

2022年12月3日、フタバ図書 TSUTAYA GIGA 上安店主催のイベントにおいて、書道パフォーマンスを実施した。基本的には、内容は自由とのことで、YOASOBI「三原色」「群青」の楽曲による4 m×8 mの書道パフォーマンスでその歌詞のフレーズを活用した。出演に向けて、主催者と入念な打ち合わせや確認、練習を重ねた。さらに、もう一種、新年の抱負の書道パフォーマンスの要望があり、静寂の中、「限界突破」の四文字を行書で大書した。事前には、イベント用看板の題字、1 m×10 mの巨大な横断幕として、書道パフォーマンス告知用の題字も担当した。来客が「2023年の抱負」などを書くことができる「書道体験コーナー」が設置され、参加者への書道の指導も担当した。

以上の機会以外にも複数の依頼があったが、時期等の関係から断念したものもあった。その他に、独自の取り組みとしては、並行して、オープンキャンパスや大学祭等での書道パフォーマンスを実施した。外部団体からの要望があるもの、何かしらの制約があるもの、自由に組めるものがある。しかしながら、書道としてのパフォーマンスに焦点を当てれば、先述の通り、いずれも古典臨書を基盤として共通理解を深め、書道としての運筆と書表現を探究することを第一義に、その上で様々な演出上の工夫を加味するものとした。また、運筆における高さや動き等について、必然性を追求していった。

おわりに

書道パフォーマンスにおいて、書作品としての成立、書道として必然性のある運筆、書表現等が一体化するところに見どころがある。特に、書いている姿を見せつつ、書字が形成され、書作品としての仕上がりにも意を払う。本来的な書の一回性に向き合い、運筆及び書作品を成立させるのである。

大作、大字による制作においては、身体全体でのダイナミックでゆとりある自然な運筆が必要となる。一般的には筆毛を押さえ込みがちになるが、巨大な毛筆であっても、小筆や通常の大筆で半紙に書く時と同様に毛筆の必然的な動きや高低差となるよう考慮していく必要がある。大きさにより、相応の運筆と身体の動作、書表現との関係に一貫性を求め、必然的な運筆の動きが造形や線質と密接に関わり合いながら、動作を楽曲に合わせるといよりは、楽曲に馴染んでいくものでありたい。

運筆を確かなものにするために、古典の書を活用する必要がある。純粹に書道としてのパフォーマンスを掘り下げ、制作時に古典と対峙し、古典からの学びを探究し、創作活動に繋げていきたいものである。書作品の完成形に向けて、書字造形の質を高め、運筆の必然性や自然さを昇華させることが肝要であろう。

また、教育の場において、書道パフォーマンスの表現者には、書道そのものの表現や作品の組み立てにおける協働に多くの学びがある。協働による作品制作の達成感、臨書から創作への一連の制作、書道の制作過程の客観的な振り返り、表現者チームの個々の感性を発揮できる自由な創造の場、相互の学び合い、ライブによる観客の反応など様々にある。個人の作品制作のみでは味わえない得難い経験ができることもある。

主な参考文献・資料

『書の古典と理論 改訂版』全国大学書道学会編 光村図書 2020

『国語科書写の理論と実践』全国大学書写書道教育学会編 萱原書房 2020

「雲章書法字典」アプリケーション（「云章书法字典」）Yu Liang 言語：簡体字中国語、繁体字中国語、英語

「e 国宝」（国立文化財機構所蔵 国宝・重要文化財）<https://emuseum.nich.go.jp>

「広島文教大学 web サイト」（2019.11.8.広島グリーンアリーナにおける書道パフォーマンス）<https://www.h-bunkyo.ac.jp/university/report/event/12087/>

「広島文教大学 書道パフォーマンス_広島グリーンアリーナ_5:55~書道部_OSEAL2019」
<https://www.youtube.com/watch?v=HNbHo4rfWAs&t=38s>

「広島文教大学 web サイト」（2022.12.3.フタバ図書 TSUTAYA GIGA 上安店における書道パフォーマンス）<https://www.h-bunkyo.ac.jp/university/report/event/20563/>

Twitter「フタバ図書 TSUTAYA GIGA 上安店」(書道パフォーマンス) https://twitter.com/futaba_kamiyasu

Facebook「Colorful Heart Festival」(広島青年会議所) <https://www.facebook.com/people/Colorful-Heart-Festival/100083164456928/>

「【第29回ひろしまトラックまつり】ダイジェスト映像(2022.10.9)」(公益社団法人広島県トラック協会) <https://www.youtube.com/watch?v=qcLW0S8079Y>

「日本書法大師：井上有一」 <https://www.youtube.com/watch?v=mD2wo1K6mIY>

「こんなに楽しい「書」こそ最高のアートだ！孤高の書家、井上有一の世界！」 <https://intojapanwaraku.com/art/1442/>

「井上有一ー金沢21世紀美術館」 https://www.kanazawa21.jp/data_list.php?g=45&d=1727
(本学教授)